



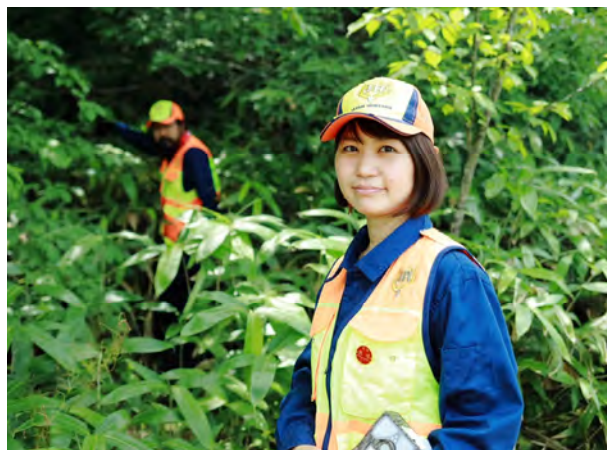
2022年

3月

中国四国農政局
島根県拠点

合同会社 式百円

松江に今まで無かった。を、おもしろく！



左奥 佐藤朋也さん 右 森脇香奈江さん

表題は、松江市地域おこし協力隊だった佐藤朋也さん、森脇香奈江さんが2018年に立ち上げた、合同会社式百円のモットーです。地域おこし協力隊の任期中に携わった活動を任期後も継続すべく、会社を設立し事業化して発展させています。

その一つが野生鳥獣肉利活用を目的とした「icas(イカす)プロジェクト」。野生動物による農作物被害は、農業者の頭を悩ます大きな課題になっています。有害鳥獣対策に関わり、自らも狩猟免許を取得して捕獲の現場に出ています。ただ駆除をするだけでなく、仕留めた命を食材や皮製品としてきちんと「イカす」ことを推進しています。

そのためには一般の方の理解が

欠かせないということで、ジビエが身近なものとなるよう、イベントや料理教室を企画し、利活用の場を拡げておられます。最近では低脂肪、高タンパクな健康食としてブームになりつつあるジビエですが、家庭の食卓に上るのはまだ珍しいことです。日常的に食べられる身近な食材となれば、捕獲された鳥獣がただの厄介者ではなくなるのでしょう。

事業化して3年が経ち、見えてきたこともあるそうです。本来狩猟は有害鳥獣の駆除のためではなく、自然の恵みをいただくために行うものであり、その地域に根付いた文化のようなものであると。それを継承していくために「ベテラン猟師と若い世代を繋いでいくのも自分たちの役割だ」と話されました。

この他に、「地域産品に新しい価値を！プロジェクト」として、地元の人が当たり前と思って気付かないものに面白い価値を見出して商品化していくことも手がけておられますが、あくまでも地域の人が主であるという姿勢は忘れないようにしているそうです。

「松江に今まで無かった。」が、「今はある。」にどんどん変わっていくのが楽しみです。

合同会社式百円の商品は同社のオンラインショップや出雲空港、松江市近辺のスーパーなどで販売されています。

詳しくはこちらへ → <https://nihyakuyen.com/>

「イカす」には4つの意味が込められています。そちらも、ぜひご覧ください。



猪フランクと
ジャーキー



3種類の「玄國之味」

インフォメーション

令和4年春の農作業安全確認運動の展開について しめよう！シートベルト

農林水産省は、3～5月を重点期間として、全国の関係機関の協力の下、春の農作業安全確認運動を実施しています。

特に乗用型トラクターからの転落・転倒時等の死亡事故を大幅に低減できるシートベルトの装着徹底を重点推進テーマとして、農業者に対する「声かけ運動」などを展開しています。

春の安全確認運動、特に「しめよう！シートベルト」の声かけ運動についてご協力をお願いします。



詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/#全国農作業安全確認

被覆肥料の対策について

中国四国農政局は、農業(水稻)で使用される被覆肥料についての正しい理解と、プラスチック被膜の海洋流出防止対策の方法、プラスチック被膜の被覆肥料と同等の機能を有する代替肥料や代替技術をホームページで紹介しています。

また、プラスチック被覆肥料の代替技術及び被覆殻の流失防止対策の検討については、みどりの食料システム戦略推進交付金のうち「グリーンな栽培体系への転換サポート」により支援が受けられます(ホームページに掲載した配布用チラシをご参照下さい)。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/chushi/seisan/kankyo/hifuku.html>

編集:中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線211) FAX(0852)27-0641

〈農政局HP〉 <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>